

合唱団フォンス・フローリス  
第8回コンセール・スピリチュエル  
Chœur Fons Floris Concert Spirituel

# グラン・モテの系譜

アンリ・デュ・モン「バビロンの流れのほとりで」  
ミシェル＝リシャール・ド・ラランド「主に向かって新しい歌を歌え」  
アンドレ・カンプラ「神はわたしたちの避けどころ」  
ジャン＝ジョゼフ・カッサネア・ド・モンドンヴィル「深い淵より」

Henry Du Mont (ca.1610-1684), "Super flumina Babylonis"

Michel-Richard de Lalande (1657-1726), "Cantate Domino canticum novum"

André Campra (1660-1744), "Deus noster refugium"

Jean-Joseph Cassanéa de Mondonville (1711-1772), "De profundis"

2015年 **8**月 **2**日(日) 午後 **2**時(1時30分開場)

上野学園 石橋メモリアルホール

## 〈独唱と管弦楽〉古楽アンサンブル コントラポント

ソプラノ dessus 花井尚美 田村幸代 オートコントル haute-contre 中嶋克彦 テノール taille 根岸一郎 バス basse 春日保人

ヴァイオリン・ヴィオラ violons 小野萬里 大西律子 長岡聡季 丹沢広樹 阿部まりこ 上田美佐子 深沢美奈

バス・ド・ヴィオロン basses de violon 西澤央子 十代田光子 ヴィオロネ violone 櫻井茂 トラヴェルソ flûtes traversières 菊池香苗 国枝俊太郎

オーボエ hautbois 尾崎温子 森綾香 ファゴット bassons 鈴木禎 安本久男 テオルボ théorbe 金子浩 上田朝子 オルガン、チェンバロ orgue, clavecin 上尾直毅

## 〈合唱〉合唱団フォンス・フローリス 〈指揮〉花井哲郎

チケット: 前売¥3,200 当日¥3,700 学生¥2,500\* 全自由席 \*学生券は、学生証を提示のうえお求めください

前売取扱: 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(セブンイレブンでの引き取り可能) 東京古典楽器センター 03-3952-5515

スペースセントポール(東京カテドラル内) 03-5981-9009 サンパウロ(四谷駅前) 03-3357-8642

問い合わせ: 大塚(10~17時) mobile 090-2525-0874/email otsuka@fonsfloris.com 主催: フォンス・フローリス 合唱団フォンス・フローリス

17世紀から18世紀にかけて、バロック時代のフランスでは、グラン・モテ（大規模なモテット）と呼ばれる宗教音楽のジャンルが発展しました。これはルイ14世を中心とした宮廷でのミサの中で、いわゆるミサ曲に代わって演奏された、独唱、合唱、管弦楽からなる一種の教会カンタータです。主に旧約聖書の詩編をその歌詞として、起伏に富んだ詩編の内容を、オペラさながらの劇的な音楽に作曲したものです。フランス宮廷では宮廷礼拝堂副楽長が実質的な教会音楽のトップとして、グラン・モテの作曲と演奏にあたりました。この演奏会では歴代副楽長の作品を取り上げます。グラン・モテ草創期のデュ・モン、グラン・モテの完成者ド・ラランド、劇場音楽にも秀でたカンブラ、そしてグラン・モテに関しては同時代のラモーをも上回る人気のあったモンドンヴィルと、時代順に4人の代表的作曲家の作品をお聴き頂けます。

## 合唱団フォンス・フローリス Chœur Fons Floris

フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団。フォンス・フローリス古楽院の受講生、また花井哲郎指導団体が中心となって、2006年にプロジェクト合唱団として発足、2011年より独立した合唱団として再スタートした。東京と関西でそれぞれ練習を進め、合同で演奏会を開催する。フランス語的なラテン語発音、イネガルや装飾法など、フランス・バロックに固有の演奏法にこだわって練習に励んでいる。今まで、シャルパンティエ、リュリ、ド・ラランドらの、主にグラン・モテを演奏してきている。

ホームページ <http://www.fonsfloris.com/choeur/>

## 古楽アンサンブル コントラポント

### Contraponto -Ensemble for Early Music

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。17世紀を中心に、後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。2010年に合唱隊を併設。プログラムによって、各パート一人ずつの器楽・声楽によるアンサンブル、ア・カペラの合唱、そして独唱、合唱にバロック・オーケストラという形態まで、それぞれの作品にふさわしい編成をとる。作品の持つ可能性を最大限に引き出すために、時代・地域に固有の演奏様式に徹底的にこだわった演奏、また声楽家と器楽奏者が音楽のみならず「音」そのものに対するイメージを共有して、各自の独創性を生かしながらも「対法的に」一体となった演奏を目指している。

これまで取り組んできた音楽は、ビクトリア、ジェズアルドといったルネサンス音楽、ガブリエリ、モンテヴェルディなどヴェネツィア宗教音楽の黄金時代、ドイツ・バロックの3大Sシャイン、シャイト、シュッツ、スペインのピリヤンシコと18世紀イエズス会宣教時代ラテン・アメリカの宗教作品、フランス・バロックの作曲家シャルパンティエ、デュ・モン、クーブランド、ド・ラランドなど、多岐にわたる。

ホームページ <http://www.fonsfloris.com/c/>

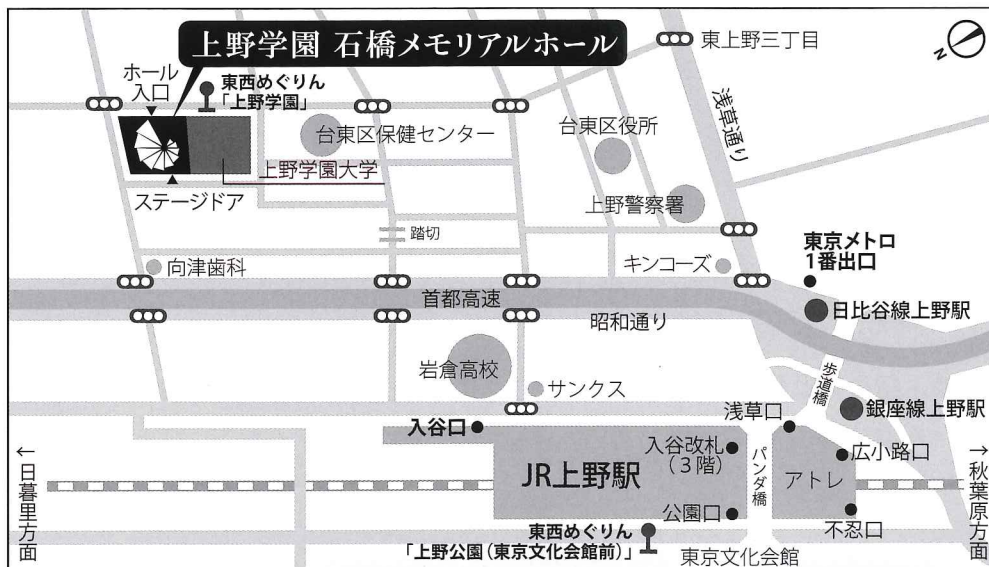
## 花井 哲郎 Tetsuro Hanai (指揮・指導)

古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。プラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」を創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。2005年には「古楽アンサンブル コントラポント」を結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロックの宗教音楽演奏にも力を注ぐ。また、古楽をレパートリーとするアマチュアのアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、グレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の普及活動を行う。

フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。



第7回コンเสิร์ต・スピリチュエル 2014年8月石橋メモリアルホール



上野学園 石橋メモリアルホール  
〒110-8642東京都台東区東上野4-24-12  
学校法人上野学園内

- JR各線「上野駅」入谷口から徒歩8分
- 東京メトロ・日比谷線／銀座線「上野駅」1番出口から徒歩8分

\* 駐車場・駐輪場はございません。  
公共交通機関をご利用ください。